⑩日本国特許庁(JP)

⑪実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U) 平4-46070

Slnt. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成4年(1992)4月20日

B 65 H 35/07

E 9037-3F

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

図考	❷考案の名称			塗膜転 写具				
					②実 ②出		頭頭	平2-88057 平 2(1990) 8 月22日
個考	案	者	小	野		雅	彦	大阪府大阪市西淀川区歌島 4 丁目 8 番43号 富士化学紙工業株式会社大阪工場内
個考	案	者	若	杉		浩	_	東京都中央区新川2丁目4番7号 株式会社内田洋行本社内
個考	案	者	稲	葉	奈	楮	子	東京都中央区新川2丁目4番7号 株式会社内田洋行本社内
個考	案	者	木	村	ł	勝	彦	東京都中央区新川2丁目4番7号 株式会社内田洋行本社内
@考	案	者	直	井		勇	Ξ	東京都中央区新川2丁目4番7号 株式会社内田洋行本社 内
個考	案	者	窗	本	安	都	夫	東京都中央区新川2丁目4番7号 株式会社内田洋行本社 内
個考	案	者	岡	Œ	1	習	継	東京都中央区新川2丁目4番7号 株式会社内田洋行本社 内
個考	案	者	富	永	3	Ē	郎	東京都中央区新川2丁目4番7号 株式会社内田洋行本社 内
⑦出	願	人	富士化学紙工業株式会 社				会	大阪府大阪市西淀川区歌島 4 丁目 8 番43号
D出 D代	願理	人 人	株式 弁理		と内田 と 村		行修	東京都中央区新川2丁目4番7号

切実用新案登録請求の範囲

ハウジングHに所定の姿勢で着脱自在に収納さ れるカートリッジCに、転写テープTを巻き掛け てある繰出コア2と、この繰出コア2から繰出さ れる転写テープTを巻き取る巻取コア3と、前記 繰出コア2から巻取コア3へのテープ移動経路途 中において、前記転写テープTの転写塗膜T₂を 被転写面 a に転写する転写ヘッド 6 と、前記両コ ア2, 3に対する同一側面側からの軸の係合操作 を許容する軸挿入口8,7とが設けられていると ともに、前記ハウジングHには、前記軸挿入口 8, 7を通して前記両コア2, 3の夫々に係合す る一対の駆動軸15,13と、前記転写ヘッド6

を外部に臨ませる開口部 10とが設けられてなる 塗膜転写具であつて、前記ハウジングHは、前記 開口部10に対して転写ヘッド6を挿抜する方向 でのカートリッジCの出し入れを許容する装着口 11を備えたハウジング本体9と、前記装着口1 1を開閉する開閉蓋12とからなり、前記開閉蓋 12の内面には、前記駆動軸15,13が取付け られ、更に、前記開閉蓋12から前記装着口11 を通してハウジング本体 9 内に延出された支持ア ーム19は、前記ハウジング本体9の内面に開閉 自在に枢着されているとともに、前記支持アーム 19には、当該支持アーム19が前記装着口11 の周縁に衝突する前に前記ハウジング本体 9 の内

実開 平4-46070(2)

面に接当して支持アーム**19**のそれ以上の開き方向への揺動を阻止するストツパー**24**が設けられている**強**膜転写具。

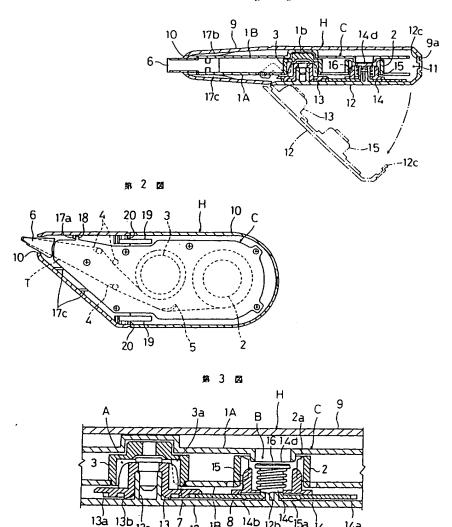
図面の簡単な説明

第1図乃至第11図は本考案に係る塗膜転写具の実施例を示し、第1図は全体の縦断面図、第2図は全体の水平断面図、第3図は要部の拡大縦断面図、第4図は要部の分解斜視図、第5図は転写状態を示す要部の拡大断面図、第6図はハウジング全体の縦断面図、第7図はハウジングの要部の分解図、第8図はカートリッジ全体の水平断面

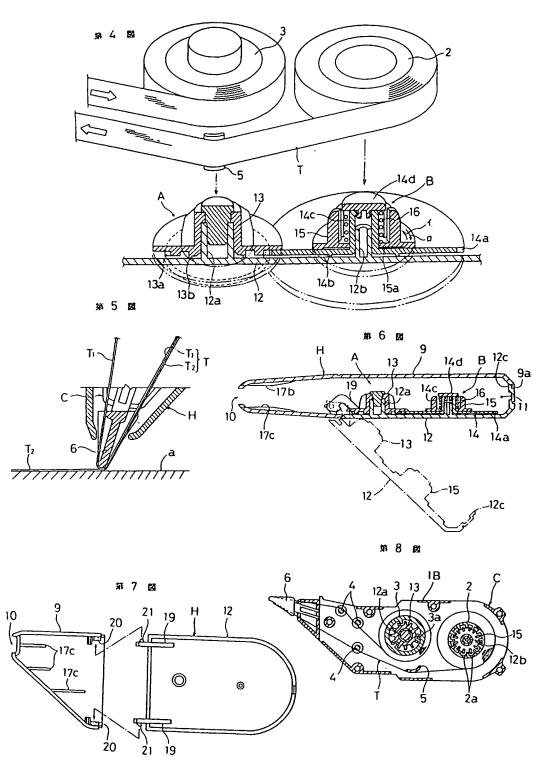
図、第9図乃至第11図は夫々開閉蓋のヒンジ構造を示す要部の拡大断面図である。また、第12図及び第13図は従来構造を示す分解斜視図と使用時の全体側面図である。

H……ハウジング、C……カートリツジ、a……被転写面、T……転写テープ、T₂……転写塗膜、2……繰出コア、3……巻取コア、6……転写ヘッド、7,8……軸挿入口、9……ハウジング本体、10……開口、11……装着口、12……開閉蓋、13,14……駆動軸、24……ストッパー。

第 1 図



実開 平4-46070(3)



実開 平4-46070(4)

